

11402軽電機製造業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物 (小)	労働者規模
1	2017	12	9~10	会社内チューブ工程にて、チューブ切断作業中、チューブを切断する機械の切断口に材料（チューブ）が詰まってしまった。材料が詰まった場合は、電源を切り、設置された工具で材料を取り除くことになっているが、電源を切らずに材料を左手で取り除こうとしたところ、右手がボタンに触れてしまい作動したため、左手の人差し指（1cm前後）を切断した。	25	8	169	30~49
2	2017	12	13~14	ルームエアコン製造ライン最終作業にて、パネル（350mm、横120mm、奥行300mm、重さ500g）を段ボールから取り出し、シールを貼り、キッキングハンガーへ表向きに置く作業を、1日約1000台超分行っていた。数ヶ月前から手首に違和感があるとの申し出があり、別の軽作業に変更するなどして様子を見ながら作業を行っていたが、当月作業中に激痛があり、様子を見たが痛みが引かず受診した。	59	99	999	1000~9999
3	2017	11	2~3	エッチング投入室内で、製品が正常に流れているか確認するため、同室内を歩行（小走り）していたところ、足を滑らせ転倒したものである。	27	2	417	100~299
4	2017	11	17~18	工場内において、終業チャイムが鳴った後で、タイムカード打刻の為に3階から2階へ移動した。その際、不注意にも階段で足を踏み外し、転倒してしまった。尾骨を強打し、仙骨骨挫傷した。	25	1	413	100~299
				検査作業現場にて、廃棄物の分別を行っていた際、納品があり				100

5	2017	10	11～ 12	受取確認に向かう途中、疲労軽減用マットに躓き転倒した。 転倒した際に左肘で着地したため、衝撃により、左肘関節脱臼骨折の怪我を負った。	57	2	379	～ 299
6	2017	10	17～ 18	高さ1100mmの設備架台の上にあるヘリウムリーク装置真空ポンプフィルターエレメント交換作業を二人作業で行っていた。設備架台へ踏み台を使って昇り、二人でフィルターエレメント交換作業を行った後、上蓋を取り付ける為、作業員Aが被災者に床に置いてある上蓋を取ってくるよう指示した。被災者が設備架台から500mm下の踏み台に下りようとした際体勢を崩し、とっさに本体下ケースのふちを左手で強く掴み、内側のエッジ部分で左手を切創した。	29	8	419	1000 ～ 9999
7	2017	10	13～ 14	スマートメータ組立#3ラインの第1工程において、回送されてきたパレットに部品（名称:ベース約180g）を持ちセットする際にベースと部品の間に入差し指先端を挟み込み受傷した。受傷当日は軽傷だと判断したが、翌日になり痛みと腫れが増してきた。	40	7	521	100 ～ 299
8	2017	9	15～ 16	敷地内の倉庫からロール状の養生シート（幅180cm、重さ20kg）を工場内に持ち込む際、養生シートを中腰で持ち上げようとしたところ腰に痛みが走った。	28	19	921	1～9
9	2017	9	10～ 11	携帯電話の試験工程での作業に従事、当該工程では2～3日に1回程度の頻度で作業を行っていた、作業員の身長は180cmで作業台は高さ約80cm、試験設備は立ち位置より30cm程度奥にあるため、試験設備に携帯電話を出し入れする際に、少し前屈みの状態となり、腰痛が発生。発生当日、本人よりサブリーダーに対し、当該工程での作業は腰に負担がかかるため、別の工程での作業を申し入れたが、不良発生原因が人の作業によるものか検証するため、本人了承のもと、午前中だけ当該工程で作業を行っていた際に腰痛発生となる。	37	19	418	100 ～ 299

10	2017	9	17~ 18	業務終了後、靴を履き替えている時に人に押され、左足小指を靴箱の角にぶつけたものである。	45	3	391	100 ~ 299
11	2017	8	15~ 16	敷地内製品倉庫の左側シャッターの前で、製品をトラックに積み込む作業をしていた。後ずさりしたとき、後方にあったハンドリフトの金属部分に足をとられ、後ろ向きに倒れて地面に左手をついて手首を負傷した。	52	2	362	50~ 99
12	2017	8	8~9	金型工場内において、金型を台車にのせて移動中、台車を手前に引きながら緩やかなスロープを下っていたとき、スロープの終わりに床のつなぎ目があり、亀裂や凹みがあったため車輪がはまった。はまった車輪を外そうとし、持ち手を引っ張った際、台車の前面が浮き上がり、バランスを崩して転倒した。その際に金型が落下し、右足の甲より先を負傷した。	64	2	362	100 ~ 299
13	2017	8	16~ 17	工場内の中2階の倉庫から製品梱包用の箱を運び出す際に、階段近くでバランスを崩し、階段へ倒れ、そのまま転落し、頭部と胸部を打撲した。	65	1	413	50~ 99
14	2017	8	13~ 14	工場の西側食堂から作業場につながる通路にて、食事休憩終了後、通路を歩行中に本人の不注意により、タイムカード設置台（鉄製70×30×30cm）の角に右太もも外側を打撲した。	36	3	379	50~ 99
15	2017	8	11~ 12	2tトラックで納品に行き、駐車場で車を止めてエンジンを切り、助手席の荷物を取ろうとしたとき、相手が車をバックしてきて衝突したため負傷した。	50	6	231	10~ 29
16	2017	7	23~24	出張宿泊先ホテル自室で就寝中に、寝返りをした時に、ベッドから床に転落し、ホテルの備え付け椅子の脚に転落した勢いで右眼を強打し、右眼眼球を保護・構成する軟骨を損傷した。 ＜補足内容＞朝起きた時には痛み及び腫れが無かったが帰阪途中から痛み・腫れがひどくなった。	49	1	391	500 ~ 999
				南棟のダミー基板置き場において、廃棄物業者への排出準備と				

17	2017	7	9~10	し、山積みになっていたダミー基板を減らすため、コンテナとフォークリフトの荷台にまたぎ、ダミー基板を入れたケースをフォークリフト側に移す際に足を滑らせ、高さ約1.2mから転倒、コンテナの角に背中と腰を強打し肋骨と腰椎を骨折。	53	1	222	500 ~ 999
18	2017	6	15~ 16	プレス機が連続自動運転中、油吸着マットを交換するために踏み台に上ろうとした時、アジャスターが外れて踏み台が傾き、体勢が崩れてしまい、可動ヒッチとエンドブロックの間に左手人差し指を挟んでしまった。（本来、油吸着マットは運転中に交換しない。）	49	7	159	50~ 99
19	2017	6	10~ 11	製品の入った通い箱を2段ずつ重ねて運ぶ作業中に、台車より箱を持ち上げた際に、下段の下部に3段目の箱が固着している事に気づかずに運搬し、作業台の上に置こうとした時に、固着していた3段目の箱が天板と接触し、両手で持ち上げていた上部2段の箱が体に衝突した。	54	3	611	50~ 99
20	2017	6	14~ 15	当社工場内において、トラックで搬入された業務用冷蔵庫の材料（鉄板39.2cm×88.8cm×158.8cm、重さ278kg）をクレーンで荷降し作業中、トラック荷台で6段に重ねられていた材料の上2段が荷崩れしていたため、荷降し前に荷崩れを直そうとクレーンで材料を吊り上げ、クレーンからトラックの荷台に移動し、材料を水平にした後、荷台から降りようとした時、水平にした材料が揺れ、被災者の背中に当たる。その際、トラックのあおりに足を当てた後、落下して背中・左手を打ち、首・胸・左手首・足を負傷したものである。	50	1	521	100 ~ 299
21	2017	6	18~ 19	工場建物内作業場において、2本ロール機を使用して平板状の電気ヒーター（電熱線の発熱体を絶縁マイカで挟みステンレス板で外装に円加工を行う際、ヒーターを持ち、ロール機にセットして起動させたところ、手を外すタイミングを誤り、ヒーターとロール機の芯棒の間に右手人差し指を挟み、第一関節よ	48	7	163	30~ 49

				り先を負傷した。				
22	2017	5	8~9	作業場へ向かうため、他の作業員と廊下を歩いていたら、置いてあったフォークリフトパレット（横110cm×縦110cm×高さ15cm）に気付かず、足をぶつけ転倒してしまった。身体を支えようと咄嗟に右手を出したが、床に強く打ちつけ負傷した。	45	2	417	100 ~ 299
23	2017	5	18~19	工場内で自動旋盤を使って真鍮製品の継手を製作するための段取り作業中、機械を停止しないまま油のホースを調整していた時、モーターがバーが下りてきて、カバーとドリル用刃物台に右手中指を挟まれ、第3指末節を負傷した。	51	7	151	30~ 49
24	2017	3	10~11	エレメント班作業場1階でローリングミルのメンテナンス中、回転体を作動させた状態で研磨作業をしている時に、手袋が巻き込まれ指が挟まり負傷した。	40	7	159	—
25	2017	3	15~16	プラスチック製の建築資材（ドアレール枠、160cm×3.5cm×15mm）の端を回転している丸鋸（直径約30cm）を使用して削る作業中に、用意されている保護具をつけ忘れたため、削られた製品の一部が左眼の瞼に飛び、裂傷を負った。	61	6	169	1~9
26	2017	2	13~14	ドローンを利用したサル追払支援ロボットの開発プロジェクトで使用するドローンが、プロポを操作しても動かないと言われ、症状を確認する為電源を入れて操作したところドローンが動き出しそれを手で押さえて止めようとしてドローンのプロペラで両手の甲や指に傷を負った。	21	7	391	50~ 99
27	2017	2	16~17	組配工場内シリンダーの動機調整を行う作業中、右手でエア注入のレバー操作・左手で製品を押さえていた際、本来縦向きに製品をセットするところを横向きに置き作業を行ってしまい、左手が製品のくぼみに掛かりシリンダーに挟まれ、負傷した。	49	7	391	100 ~ 299
				出勤時に工場到着後車から降りて工場へ向かう途中で滑って転				

28	2017	2	8~9	倒した。転倒場所は負傷者本人が駐車した右後ろ部分、当時直径1m位の広さが凍結していた。（雪解け氷が凍結した状態）	59	2	719	10~ 29
29	2017	1	9~ 10	プレス工場ドリル加工作業をしている時、ドリル機を停止せずにワークを取り換え時、作業者が軍手を装着しており、右手甲部分にドリルの刃が接触した際に巻き込まれ、とっさに左手で電源をOFFにした。	39	7	152	10~ 29
30	2017	1	21~ 22	二次分割機から異音がしたために、装置を停止させずに確認しようとしたところ、稼動中の二次分割機のベルトと駆動プーリーの間で左手中指を挟んだ。慌てて同指を引き抜いたところ、同指の爪が剥がれた。	59	7	169	50~ 99
31	2017	1	16~ 17	重さ10kgのエンボステープが大量に入り倉庫に片付けようとパレットに乗せて、いっぱいになったので板台車に乗せて運ぼうと、エンボステープを持って後に下がった時に足元にあったリフターに左足が引っ掛かり、左膝が一瞬外れたように内側に曲がり、後ろに転倒し、膝部分が腫れて動けなくなった。	51	3	362	100 ~ 299
32	2016	12	15~ 16	作業机の上に製品を置いて、ネジ交換の作業をしていた。大変固いネジを、力を入れてドライバーで外そうとした時に、肉離れを起こした。	63	19	921	100 ~ 299
33	2016	12	11~ 12	材料を工場内に運び込もうと、工場建家の前屋に下してあった4束を持ち上げたところ持ち切れず、傍らの柱の上台に右手甲を打ちつけ負傷した。	23	3	521	30~ 49
34	2016	11	11~ 12	遊技機工程で遊技機を分解する作業において、パレットに載せられた筐体を180度滑らせて回転する際に腰をひねった。	41	19	921	100 ~ 299
35	2016	11	13~ 14	建屋外にあるトイレに行った帰り、歩道から建屋入口に向かう所で、1cmくらいの段差につまずき転倒した。	53	2	417	500 ~



42	2016	9	16～ 17	生産現場にて基板収納ラックを上部に積み上げる際、腰を痛めた。	19	19	611	～ 299
43	2016	8	16～ 17	製品倉庫で製品の出入庫作業中、当日は、連日の猛暑で高温となっていたところで水だけの補給にて対応していたため熱中症が発生した。	34	11	715	100 ～ 299
44	2016	8	9～ 10	工場の製品製造機械横に於て、製品製造機械保守中、作業台床から15cm位の高さにある材料供給装置の故障箇所を、5～10分程度しゃがんだ状態で修理してから立ち上がる際、左膝に激しい痛みがあり、左膝がまっすぐに伸びなくなった。	49	19	364	30～ 49
45	2016	8	14～ 15	小休憩の後、現場に戻ってきたときに、作業台の前に敷いてあった静電マットに躓き、作業台の角で胸を打った。	30	3	379	100 ～ 299
46	2016	8	14～ 15	構内（通路）でかんばんBOXからかんばんを回収した後、振り返ったら、ハンドキャリアで製品を運搬してきた者と衝突してしまった。	38	6	911	100 ～ 299
47	2016	8	20～ 21	工場内に於いて、鉄パイプを旋盤と両手でサンドペーパーを用いて、そのパイプを表面仕上げしている際、右腕が回転しているパイプに引き込まれてしまい負傷した。	45	7	151	50～ 99
48	2016	8	15～ 16	プレス棟の材料ストッカー置き場で、結束されたコイル材のバンド切断作業時に、材料ストッカー内に入り作業をしていた。転倒防止ストッパーがサイズアップしたコイル材の高さに対応出来てなく、また枕木に切りかさが有り、結束バンド切断時にコイル材が倒れ、被災者の右足ひざ下裏がコイル材とストッカーの間に挟まれた。	54	7	521	500 ～ 999
49	2016	6	13～ 14	工場の作業場でメタル式の換気扇にプレス作業中、誤ってプレス機の作動ボタンを体で押してしまい、右手を負傷した。	37	7	169	10～ 29
				工場1F東側のチューブカット工程仕分けエリアで、他工場に				







74	2015	6	11～ 12	作業ラインにてプリンタ内シャフト部品取り付けの際、部品端のリング取り付け時、手をすべらせて強く部品に接触し指を裂傷した。	27	8	169	100 ～ 299
75	2015	5	13～ 14	コンテナ内（荷台）に入り約10kgの荷物を積み下ろそうと抱えた際に誤ってバランスを崩し、荷台から落下。下にいた作業者との衝突を避けようと、荷物を抱えた状態で左足のみで着地したため、過度の負荷がかかり左足親指を負傷した。	36	1	611	10～ 29
76	2015	5	12～ 13	降荷時2トントラック後部より後向きに降りようとした時、床より60cmのステップに足をふみ外し、背中から落下。	61	1	221	1～9
77	2015	5	16～ 17	事業所内の階段を降りる際、足を踏み外し、左足つま先で着地した。	38	3	413	1000 ～ 9999
78	2015	4	16～ 17	搬送準備中に、勢いよく出てきた大型台車に後方より背中（腰）へぶつけられ脊椎を捻挫した。	39	6	362	100 ～ 299
79	2015	3	14～ 15	プレスブレーキを使用して鋼板の折り曲げ作業中、誤って左手指がプレスに挟まれ負傷した。	24	7	154	30～ 49
80	2015	3	21～ 22	加圧機で作業中、作業スピードを上げる為に、左のボタンにピンセットを挟むことにより常時、左のボタンは押されている状態に独自に変更を加え、右のボタンを押すだけで作業できる状態にしていた。その際、左手中指を戻すのが遅れ、誤って機械に指を挟んだ。	27	7	159	100 ～ 299
81	2015	3	10～ 11	液晶パネル工場1階生産ラインにおいて、60型パネル梱包箱パレット整理のため、梱包箱（総重量約80kg）を2人で持ち上げて移動する際、腕を伸ばした状態になり、急に腰痛となった。	24	19	921	1000 ～ 9999
82	2015	3	10～ 11	作業現場にて、作用移動中、仕掛り品置き場のスノコにつまずき転倒、両膝を打撲。	57	2	379	100 ～

									299
83	2015	3	17～ 18	就業先構内において帰宅する際に、縁石がある（段差がある）ことに気付かず、足を踏み外し、転倒し、ケガをした。	26	2	418	50～ 99	
84	2015	3	9～ 10	工場内において、作業の段取りをしている最中スポット溶接機の電極を交換（チップ交換）する際、通常は水の流れを止めて作業をしなければならないが水の流れ（スイッチ）を止めずに作業し、その為チップがはずれ水の流れを手で止めようとした時、誤って足で起動ボタンを踏んでしまい、左手を負傷した。	60	7	339	50～ 99	
85	2015	2	11～ 12	トラックに乗っていた重量物を荷降ろしし、据え付け作業を行った。作業終了後に右肩、腕に違和感があり、その後右手、右腕にむくみを感じた。	30	19	611	100 ～ 299	
86	2015	2	11～ 12	作業中、障害物のない平面の床で転倒し、右ひざを床に強打する。	38	2	417	1～9	
87	2015	2	8～9	組立ラインにて刻印機に部品をセットして刻印している時、刻印がされなかったのでスイッチが押されていないと思い裏にあるスイッチを押した。その時に安全カバーの中に指を入れていて下がってきた刻印機と安全カバーの間に指を挟んでしまった。	44	7	169	100 ～ 299	
88	2015	2	11～ 12	工場内において、業務用冷蔵庫組立用の材料を準備する作業をしているとき、フォークリフトで台車上のパレットに乗せた梱包されている材料（鉄板）を開梱しようと、梱包バンドをカッターで切ったところ、材料が傾いた状態であったため、材料数枚が被災者側に荷崩れて咄嗟に右手で押さえたが、支えきれずに転倒する。	48	5	611	50～ 99	
89	2015	2	11～ 12	塗装の終わった重量物を塗装工場から組立工場へ3人で運ぶ時に足をひねってヒザを床について倒れた。	66	19	611	30～ 49	
			13～	食堂の机を拭きながら左に移動した時に床にかかるとがひっかか				100	

90	2015	1	14	り、左足首をひねった。	51	19	418	～ 299
91	2015	1	18～ 19	原付バイクを運転中、左脇道から飛び出してきた自動車に衝突された。衝突された反動で反対車線付近にある用水路（側溝）まではじき飛ばされ落下した。	27	17	231	1～9
92	2015	1	2～3	夜間勤務のNC旋盤での作業中チップ交替時に発生した。バイトホルダーからチップを脱着し新しいチップに交替作業中、六角レンチにて締め付け中に、レンチが外れ右人差し指を切創してしまった。	56	8	151	30～ 49
93	2015	1	8～9	出勤時、構内駐車場にて路面凍結により滑って転倒。	26	2	719	100 ～ 299
94	2014	12	3～4	休憩時間になり作業着をロッカーへ取りに向う通路でスノコが割れていて、それを踏んだため転倒し、右肩を骨折しました。	48	2	417	300 ～ 499
95	2014	12	8～9	本社工場駐車場入口スロープに於いて、駐車を済ませ工場内へ移動する際に、地面が凍結していた為に誤って足を滑らせてしまい、左足首を負傷したもの。	58	2	417	100 ～ 299
96	2014	12	11～ 12	出張先より打ち合わせ終了後勤務地へ電車にて戻るため駅へ向かう際両手にはカバン（通常のカバン及びP Cカバン）を持っていた。小走りで駅に向かっていた所、駅前のスロープでつまずき右腰部分から転倒。右転子部を骨折した。	45	2	417	500 ～ 999
97	2014	12	23～ 24	クリーンルーム内にてC T Pロール成膜工程の投入前清掃時に、駆動ロールを回転させながら作業実施し、駆動ロール間に右手を巻き込まれた。	34	7	224	1～9
98	2014	12	22～	上記日時、当社工場内に於いて、基板組立作業中、作業台から部品を取りに向かいの作業台に移動した際、床の配線隠しモー	55	2	417	300 ～

			23	ル（高さ1cm・幅1.5cm）に躓き転倒、左大腿部を強打し、 頸部骨折したもの。					499
99	2014	11	13～ 14	部品置場において、作業中に同僚をに製品保管場所に案内する ため、パレット間の通路をすり抜けようとしてしました。しかし、 パレットの荷崩れ防止用のラップガ部品を取り出すためにほど かれており、それがリング状に床に垂れ下がっていました。負 傷者はそれに気付かず、足を取られ転倒しました。転倒の際 に、付近の柱で左手をぶつけた後、床面にひたいを強打し、左 第3指捻挫、頭部打撲挫創と診断された。	50	2	417	500 ～ 999	
100	2014	11	9～ 10	会社玄関前の路上で振り向きながら、玄関前に停めた社用車の 方へ歩こうとした時、つまずいて足首を捻って転倒し、足首を 骨折した。（手に荷物など持っていなかった）※通院し経過 観察をしていたが、回復しないため1/23に手術することとなっ た。本報告についてはこれまで入社していたが、上記の理由に より手術することになり、提出することとなった。	57	2	419	500 ～ 999	

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。